



令和8年度九州大学一般選抜（前期日程）における理科（生物基礎・生物）の出題ミスについて

令和8年2月26日に実施しました令和8年度九州大学一般選抜（前期日程）の選択科目、理科（生物基礎・生物）において、設問中の一部に誤りがありましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 受験者数

理科受験者3,083名のうち、「生物基礎・生物」を選択した受験者は472名

2. 対象学部等

理学部、医学部生命科学科、医学部保健学科、歯学部、薬学部、芸術工学部、農学部

※ 試験科目「生物基礎・生物」はいずれの学部学科でも選択科目

3. ミスの内容（別紙参照）

大問〔4〕実験2の本文および図2の注釈において、「スレオニン（T）」と表記すべきところ、「チロシン（T）」と表記した。

4. ミスが判明した経緯

外部からの指摘により発見した。

5. 受験者への対応

受験者への影響を鑑み、ミスのあった実験2および図2の影響を受ける問4について受験者全員を正解として取り扱う。

なお、問5については、別途受験者全員を正解として取り扱っている。

6. ミスによる追加合格の有無

有り（農学部3名）

7. 再発防止に向けて

この度の出題ミスは、問題作成及び点検時におけるミスが重なったものです。本学では複数人による複数回の点検体制を取っていますが、これらによる対応が確実なものとなるよう今一度徹底し、再発防止に努めてまいります。

この度は、受験者並びに関係の皆様にご迷惑をおかけしてしまい、深くお詫び申し上げます。

【お問い合わせ】学務部入試課長 扇谷

TEL : 092-802-2002 FAX : 092-802-2008

Mail : nyukacho@jimu.kyushu-u.ac.jp

〔4〕抜粋

実験2：実験1で得られたPCR産物の遺伝子配列を確認したところ、正常なEGFRと比較して、858番のロイシン(L)がアルギニン(R)に変異していた。肺がんでは、この変異以外に790番のチロシン(T)のメチオニン(M)への変異も多く検出されている。そこで、790番と858番の2つのアミノ酸に変異を有するEGFR遺伝子を作製することにした。これ以降、正常なEGFRと各アミノ酸変異をT790M、L858Rと表記し、それぞれに対応する遺伝子をEGFR(正常型)、EGFR(L858R)、EGFR(T790M/L858R)と称する。なお、ヒトEGFRは1,210個のアミノ酸からなる。

実験1で得られたEGFR(L858R)遺伝子を用いて、図2に示す方法でEGFR(T790M/L858R)遺伝子を作製するために、フォワード1(F1)プライマーとリバース1(R1)プライマー、フォワード2(F2)プライマーとリバース2(R2)プライマーを設計した。

- ・1回目のPCRでは、F1プライマーとR1プライマーを使用して、1塩基から2,391塩基までを増幅した。
- ・2回目のPCRでは、F2プライマーとR2プライマーを使用して、2,349塩基から必要箇所までを増幅した。
- ・3回目のPCRでは、1回目と2回目のPCR産物を混合して鋳型とし、F1プライマーとR2プライマーを使用して、EGFR(T790M/L858R)遺伝子を作製した。

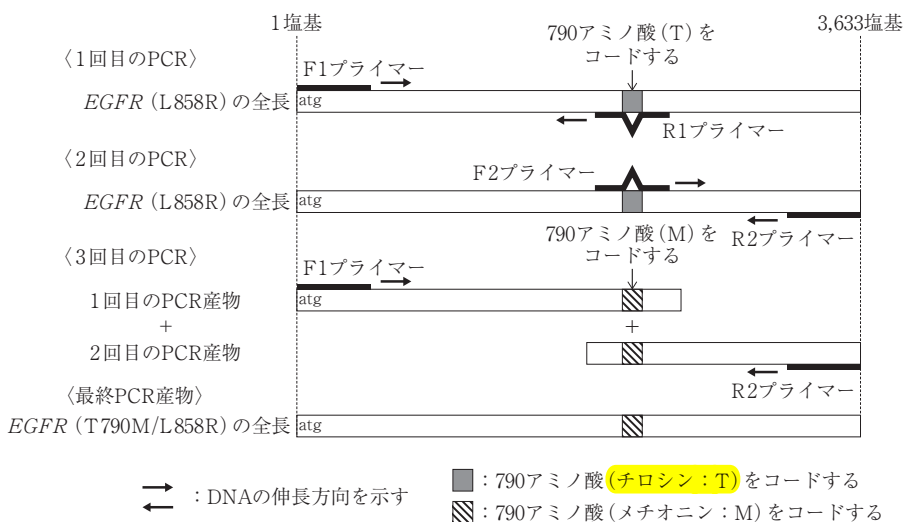


図2

問 4. R1 プライマーの設計には、図 3 に示す EGFR (L858R) の 786 番 (バリン : **V**) から 797 番 (システイン : **C**) のアミノ酸配列 (上段) と、それらのアミノ酸をコードする塩基配列 (下段) の 2,356 番 (g) から 2,391 番 (c) までの配列情報を用いた。

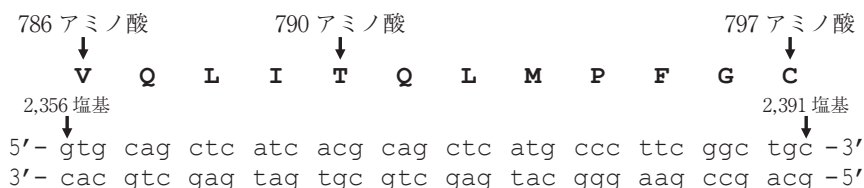


図 3

R1 プライマーの設計で正しいのは(ア)~(エ)のどれか選びなさい。

- (ア) 5'- gtg cag ctc atc acg cag ctc atg ccc ttc ggc tgc -3'
- (イ) 5'- gtg cag ctc atc atg cag ctc atg ccc ttc ggc tgc -3'
- (ウ) 5'- gca gcc gaa ggg cat gag ctg cgt gat gag ctg cac -3'
- (エ) 5'- gca gcc gaa ggg cat gag ctg cat gat gag ctg cac -3'

問 5. R2 プライマーの設計には、図 4 に示す EGFR (L858R) の 1,199 番 (アルギニン : **R**) から 1,210 番 (アラニン : **A**) のアミノ酸配列 (上段) と、それらのアミノ酸をコードする塩基配列 (下段) の 3,595 番 (a) から終始コドン (*****) の 3,633 番 (a) までの配列情報を用いた。なお、R2 プライマーを用いて作製する *EGFR* (T790M/L858R) 遺伝子は、読み枠を合わせて 3' 末端側に蛍光タンパク質の遺伝子配列を直接融合させてプラスミドを作製する。

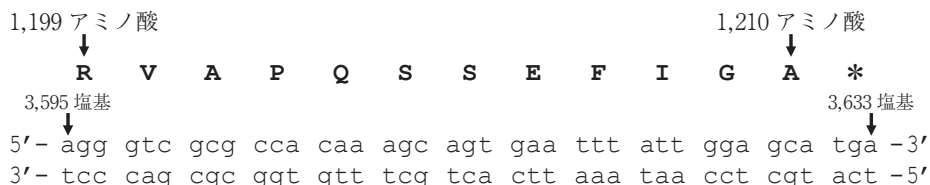


図 4

R2 プライマーの設計で正しいのは(ア)~(エ)のどれか選びなさい。

- (ア) 5'- agt acg agg tta ttt aag tga cga aac acc gcg ctg -3'
- (イ) 5'- acg agg tta ttt aag tga cga aac acc gcg ctg gga -3'
- (ウ) 5'- tgc tcc aat aaa ttc act gct ttg tgg cgc gac cct -3'
- (エ) 5'- tca tgc tcc aat aaa ttc act gct ttg tgg cgc gac -3'

令和8年度九州大学一般選抜（前期日程）における
理科（生物基礎・生物）の出題ミスについて

このたび、本学において、令和8年2月26日に実施しました令和8年度九州大学一般選抜（前期日程）の選択科目、理科（生物基礎・生物）において、設問中の一部に誤りがあったことが判明いたしました。

入学試験の実施に際しては、受験生の将来や進路に多大な影響を及ぼすことから、細心の注意を払うべきところ、今回の出題ミスにより、影響があった3名の受験生はもちろん、本学を受験した皆様や関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

今後、合否判定に影響のあった受験生のことを最優先に考え、最善の方法により誠意をもって対応してまいります。

本学としましては、今回の事案を非常に重く受け止め、今後このようなことが生じないように、改めて再発防止に全力で努めてまいります。

令和8年5月22日

九州大学総長 石橋 達朗